平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年11月2日

上場会社名　トラスコ中山株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　9830　URL　http://www.trusco.co.jp/
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中山　哲也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長　(氏名) 藪野　忠久　TEL 03-6435-6618

四半期報告書提出予定日　平成23年11月14日　配当支払開始予定日　平成23年11月21日
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　(機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	60,876	12.5	3,473	56.7	3,463	59.8	1,937	60.6
23年3月期第2四半期	54,121	18.3	2,216	75.7	2,168	72.6	1,206	122.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	58.74	―
23年3月期第2四半期	36.57	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	92,033	77,238	83.9	2,341.94
23年3月期	92,857	75,723	81.5	2,295.98

(参考) 自己資本　24年3月期第2四半期　77,238百万円　23年3月期　75,723百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	10.00	―	12.00	22.00
24年3月期	―	15.00			
24年3月期(予想)			―	17.50	32.50

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　有

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	128,000	10.8	8,000	46.0	7,900	46.9	4,250	47.9	128.77

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 無
④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	33,004,372 株	23年3月期	33,004,372 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	23,682 株	23年3月期	23,340 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	32,980,884 株	23年3月期2Q	32,981,819 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている事業見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいていますが、リスクや不確実性を含んでいます。

よって、実際の業績は様々な要因により記述されている業績予想とは大きく異なる可能性もあります。

実際の業績予想に与え得る要因には、当社の事業を取り巻く経済環境、市場動向等が考えられます。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)4ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２

（１）経営成績に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
（２）財政状態に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
（３）業績予想に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４

２．四半期財務諸表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５

（１）四半期貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
（２）四半期損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・８
（４）継続企業の前提に関する注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（５）セグメント情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記・・・・・・・・・・９

※　当社は、四半期決算の補足説明資料を作成しており、決算短信発表後、速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する定性的情報

①当第２四半期累計期間の経営成績

	金　額	前年同四半期増減率
売　上　高	60,876 百万円	12.5%
営 業 利 益	3,473 百万円	56.7%
経 常 利 益	3,463 百万円	59.8%
四半期純利益	1,937 百万円	60.6%

当第２四半期累計期間（平成 23 年４月１日～平成 23 年９月 30 日）における我が国経済は、東日本大震災の影響により生産及び輸出の減少など一時的に需要が減退したものの、被災地域の復旧活動や引き続き堅調な新興国の需要にも支えられ、景気は緩やかな持ち直し傾向で推移しました。

国内製造業を中心としたモノづくり現場においては、依然続く円高の進行や米国景気の悪化、欧州市場の金融不安等の影響により外需の頭打ちにつながりかねない厳しい状況が続きましたが、輸出型企業を中心としたサプライチェーンの復旧による生産活動の好転及び震災復旧活動に係わる業種における需要の増加が見られました。

このような環境下で当社は、少量多品種・多頻度の商品ニーズに的確にお応えするため、取扱アイテムの拡充、戦略的な在庫アイテムの増強、電子商取引の推進等、お客様の利便性を高める営業活動を展開しました。

その結果、当第２四半期累計期間における全体の売上高は608億76百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

利益面につきましては、利益率の高い保護具及び安全用品への需要の高まりに伴う同商品の売上高及び売上比率の向上並びにプライベート・ブランド商品の売上高伸張により、売上総利益率が 20.6%と前年同四半期に比べ 0.1%改善し、売上総利益は 14 億 49 百万円増加の 125 億 46 百万円（前年同四半期比 13.1%増）となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、業績の回復に伴う商品出荷量の増加による運賃及び荷造費の増加、社会保険料の料率変更及び福利厚生施設の修繕による福利厚生費の増加等の影響により、90 億 73 百万円（前年同四半期比 2.2%増）となりました。

以上の結果により、営業利益は34億73百万円（前年同四半期比56.7%増）、経常利益は34億63百万円（前年同四半期比59.8%増）となり、四半期純利益は19億37百万円（前年同四半期比60.6%増）となりました。

②ルート別売上高の状況

期別 / ルート別	当第２四半期累計期間（自 平成23年 4月 1日 至 平成23年 9月30日）	
	金額	構成比
	百万円	%
ファクトリールート	55,227	90.7
ホームセンタールート	5,502	9.1
その他	145	0.2
合計	60,876	100.0

１）ファクトリールート（製造業、建設関連業等向け卸売）

国内製造業における生産活動が輸出型企業を中心に緩やかな回復傾向で推移し、また、東日本大震災の被災地における復旧活動が進む中、当社に優位性のある少量多品種・多頻度の商品ニーズに確実にお応えするため、在庫アイテムの拡充や電子商取引システムの浸透等に取り組みました。

２）ホームセンタールート（ホームセンター向け販売）

建設投資及び建築需要が緩やかな回復傾向で推移する中、プライベート・ブランド商品の提案に加え、屋外作業向けの工事用品の販売を中心とした積極的な営業活動の強化に努めました。

（２）財政状態に関する定性的情報

①資産、負債、純資産の状況

（資産）

資産合計は、前事業年度末に比べ８億23百万円減少の920億33百万円（前事業年度末比0.9%減）となりました。これは主に、現金及び預金が４億16百万円、売掛金が17億82百万円それぞれ減少し、商品が18億30百万円増加したことによるものです。

（負債）

負債合計は、前事業年度末に比べ23億38百万円減少の147億95百万円（前事業年度末比13.6%減）となりました。これは主に、買掛金が12億22百万円、未払金が９億７百万円及び未払法人税等が２億88百万円それぞれ減少したことによるものです。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末に比べ15億15百万円増加の772億38百万円（前事業年度末比2.0%増）となりました。これは主に、四半期純利益19億37百万円の計上及び期末配当金３億95百万円の支払により利益剰余金が増加したことによるものです。なお、自己資本比率は前事業年度末の81.5%から83.9%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フローの状況）

営業活動によるキャッシュ・フローは、10億74百万円の収入となりました。主な要因は、税引前四半期純利益33億95百万円、減価償却費11億56百万円、売上債権の減少17億84百万円の収入に対し、たな卸資産の増加18億31百万円、仕入債務の減少

12億22百万円、法人税等の支払額14億79百万円となったことによる支出の差額です。

（投資活動によるキャッシュ・フローの状況）

投資活動によるキャッシュ・フローは、岡山支店の移転用地、千葉支店の建物等、有形固定資産の取得による支出11億27百万円に対し旧プラネット北関東（八潮倉庫）等、有形固定資産の売却による収入４億93百万円が主な要因となり、10億95百万円の支出となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フローの状況）

財務活動によるキャッシュ･フローは、配当金の支払等により３億96百万円の支出となりました。

以上の結果、当第２四半期累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前事業年度末に比べ４億16百万円減少の139億97百万円となりました。

（３）業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成 23 年５月９日発表の数値に変更はありません。

２．四半期財務諸表

（１）四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度 （平成23年３月31日）	当第２四半期会計期間 （平成23年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,413	13,997
売掛金	16,695	14,913
商品	16,058	17,889
繰延税金資産	878	726
その他	290	390
貸倒引当金	△13	△12
流動資産合計	48,322	47,903
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	16,900	16,651
工具、器具及び備品（純額）	552	492
土地	23,164	23,180
建設仮勘定	128	257
その他（純額）	760	718
有形固定資産合計	41,507	41,299
無形固定資産		
ソフトウエア	988	624
その他	36	345
無形固定資産合計	1,025	969
投資その他の資産		
投資有価証券	949	905
再評価に係る繰延税金資産	118	－
その他	992	1,007
貸倒引当金	△57	△52
投資その他の資産合計	2,001	1,860
固定資産合計	44,534	44,130
資産合計	92,857	92,033

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年３月31日)	当第２四半期会計期間 (平成23年９月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,838	9,616
未払金	1,865	958
未払費用	146	143
未払法人税等	1,533	1,244
賞与引当金	767	928
役員賞与引当金	－	21
その他	248	116
流動負債合計	15,400	13,029
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	－	2
役員退職慰労引当金	166	166
その他	1,566	1,597
固定負債合計	1,732	1,765
負債合計	17,133	14,795
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,022	5,022
資本剰余金	4,709	4,709
利益剰余金	67,070	68,434
自己株式	△43	△43
株主資本合計	76,759	78,122
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	67	41
土地再評価差額金	△1,102	△925
評価・換算差額等合計	△1,035	△883
純資産合計	75,723	77,238
負債純資産合計	92,857	92,033

（２）四半期損益計算書
【第２四半期累計期間】

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
売上高	54,121	60,876
売上原価	43,023	48,329
売上総利益	11,097	12,546
販売費及び一般管理費		
運賃及び荷造費	1,143	1,239
役員報酬	113	120
給料及び賞与	2,917	2,969
賞与引当金繰入額	938	928
福利厚生費	584	655
通信費	179	159
減価償却費	1,226	1,129
借地借家料	223	229
その他	1,553	1,640
販売費及び一般管理費合計	8,880	9,073
営業利益	2,216	3,473
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	6	7
仕入割引	495	570
その他	106	121
営業外収益合計	616	702
営業外費用		
売上割引	596	653
その他	69	58
営業外費用合計	665	712
経常利益	2,168	3,463
特別利益		
固定資産売却益	－	8
特別利益合計	－	8
特別損失		
固定資産除却損	12	4
減損損失	－	22
災害による損失	－	48
その他	2	－
特別損失合計	14	76
税引前四半期純利益	2,153	3,395
法人税、住民税及び事業税	955	1,196
法人税等調整額	△8	262
法人税等合計	947	1,458
四半期純利益	1,206	1,937

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年９月30日）	当第２四半期累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	2,153	3,395
減価償却費	1,253	1,156
貸倒引当金の増減額（△は減少）	22	△3
受取利息及び受取配当金	△14	△10
有形固定資産除売却損益（△は益）	5	△3
減損損失	－	22
災害損失	－	48
売上債権の増減額（△は増加）	1,779	1,784
たな卸資産の増減額（△は増加）	△256	△1,831
仕入債務の増減額（△は減少）	△1,407	△1,222
未払消費税等の増減額（△は減少）	△153	△127
その他	△358	△624
小計	3,024	2,584
利息及び配当金の受取額	9	10
法人税等の支払額	△1,075	△1,479
災害損失の支払額	－	△40
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,958	1,074
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△6,790	△1,127
有形固定資産の売却による収入	－	493
無形固定資産の取得による支出	△63	△445
投資有価証券の取得による支出	－	△100
投資有価証券の償還による収入	－	100
関係会社株式の取得による支出	△139	－
その他	1	△15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,992	△1,095
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△330	△395
財務活動によるキャッシュ・フロー	△331	△396
現金及び現金同等物に係る換算差額	－	－
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△5,365	△416
現金及び現金同等物の期首残高	17,812	14,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,447	13,997

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）セグメント情報

①報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。当社は、販売ルート別のセグメントから構成されており、製造業、建設関連業等向け卸売の「ファクトリールート」及びホームセンター向け販売の「ホームセンタールート」の２つのルートを報告セグメントとしています。

②報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

【前第２四半期累計期間（自　平成22年４月１日　至　平成22年９月30日）】

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計	(注)1	
売上高					
外部顧客への売上高	48,988	5,077	54,066	55	54,121
セグメント利益又は損失（△）(注)2	2,255	△114	2,141	26	2,168

（注）１.「その他」セグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２.「セグメント利益又は損失（△）」は、経常利益を表示しており、四半期損益計算書の経常利益と一致しています。

【当第２四半期累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）】

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期損益計算書計上額
	ファクトリールート	ホームセンタールート	計	(注)1		(注)3	(注)4
売上高							
外部顧客への売上高	55,227	5,502	60,730	145	60,876	—	60,876
セグメント利益(注)2	3,443	4	3,448	9	3,457	6	3,463

（注）１.「その他」セグメントには、報告セグメントに含まれない通販企業向け販売等の事業セグメントを含んでいます。

２.「セグメント利益」は、経常利益を表示しています。

３.「セグメント利益」の調整額６百万円は、各報告セグメントに帰属しない利益が含まれています。

４.「セグメント利益」は、四半期損益計算書の経常利益と調整を行っています。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。